

令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県立山博物館 文化振興課

2 施設所在地
中新川郡立山町芦峯寺93-1

3 施設設置年度
平成3 年度

4 設置目的
立山の雄大な自然及びそれにはぐくまれた立山信仰の精神世界を紹介するとともに、展示館、遙望館、まんだら遊苑等のほか、文化財、遺構等の施設及び歴史的風致を総合的に活用し、県民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。

5 施設概要

①建物の構造 展示館…鉄筋コンクリート造3階建
遙望館…木造2階建
資料館…鉄筋鉄骨コンクリート造2階建
山岳集古未来館…鉄筋鉄骨コンクリート造2階建
まんだら遊苑…地界鉄筋コンクリート造地上1階地下1階
天界鉄筋コンクリート造地上1階地下2階

②敷地面積 130,578.5㎡

③建物面積 5,945.33㎡

④施設内容 展示館…延床面積1,784.84㎡(3階建)うち、展示面積1,082.28㎡
遙望館…延床面積663.95㎡(2階建)うち、展示面積204.14㎡
資料館…延床面積630㎡(2階建)
山岳集古未来館…延床面積313.90㎡(2階建)
まんだら遊苑…地界・陽の道・天界・闇の道
敷地面積20,000㎡延床面積1,401.92㎡
歴史的建造物…教算坊・嶋家・有馬家・善道坊・合掌休憩舎
延床面積982.36㎡
かもしか園…敷地面積11,000㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1)利用者数(人)

H29	H30	R1	R2	R3
75,630	63,661	77,390	47,503	57,010

(2)利用(使用)料金収入(千円)

H29	H30	R1	R2	R3
8,706	6,982	9,263	7,416	6,916

【参考】利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H29	H30	R1	R2	R3
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

新型コロナウイルス感染拡大に伴い8/18～9/12の期間、臨時休館となり、前期企画展「山岳信仰と山麓の暮らし」が会期中で終了となるなど、令和2年度に続き新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。

入館者数は、上記影響で極端に入館者が減った令和2年度に比べ57,010人と令和2年度比で120%と増加した。また、観覧料・使用料収入は、令和2年度より入館者が増加したが、学校減免団体の増、一般団体旅行の減により6,916千円と令和2年度比93.3%と減少した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・展示館窓口で県の図録、新規のグッズ等の販売に協力した。
- ・財団のホームページを活用し、開館状況及びイベント等の情報を速やかに提供した。
- ・受付窓口で立山黒部アルペンルートや県内市町村の観光パンフレット配布などの案内サービスを実施した。
- ・平成29年度からの観覧料等のクレジットカード・電子マネー決済対応に加え、令和2年度からPayPayやLINEPayなどのQRコード決済に対応した。
- ・平成21年度から障害を持つ方や高齢者などに対して、ユニバーサルサービスの提供を推進する有資格者を配置している。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・財団のホームページなどにより県内外に向けて効果的な広報・情報発信を行った。
- ・令和2年度からGO TOトラベル事業や地元で愉しもう富山観光キャンペーン事業に参加して、クーポンでの観覧料支払に対応し、集客を図っている。
- ・令和3年7月からJAFアプリクーポンプレゼント企画に参加し、利用促進を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：エントランスホールにアンケートボックスを設置
回答者数	205人
結果	90%以上満足
結果を踏まえた改善事項	利用者には概ね満足いただいているが、今後も高い満足度を維持するため、おもてなしの心を持って丁寧に接客するよう職員を指導した。

②その他利用者の声を反映させる取組み

利用者から寄せられたアンケート結果・意見・要望を利用者サービスに反映させるため、職員全員で情報を共有した。

③主な苦情と対応

展示品付近の足元が暗い・・・学芸員の助言の下、全体の雰囲気を変えないよう配慮しつつ、2階廊下の一部照明をハロゲン球から明るいLED球に変更した。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定めて職員に周知を図り、適正に個人情報を取り扱っている。

(6) 関係団体との連携

地元宿泊施設、立山町商工観光課、立山黒部貫光などと協力し、施設のPRを行った。

(7) 施設・設備の維持管理

専門保守業者による保守点検とは別に職員による自主点検を毎月行うなど、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、防災訓練の実施や各種機器点検を実施した。
- ・熊、イノシシ被害防止対策を実施した。（監視体制の強化、野外施設の草刈、忌避剤撒布、防獣ネット・熊撃退スプレー・夜間警報ライト・忌避用音響機器を設置）
- ・スズメバチ、蛇、コウモリ、カメムシ等の被害防止対策を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策（職員のマスク着用・受付にアクリル板設置・消毒用アルコールの設置・不特定多数の接触部分の日常消毒作業等・接触がある展示の使用休止）を実施した。また、スタッフの体調管理、同居家族やその職場・学校等で陽性者が出た場合の出勤の是非や連絡体制を徹底し、感染拡大を未然に防ぐ対策を取った。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	3
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・利用者が安心して来館できるよう、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、日々変化する国内外の状況を踏まえ迅速かつ適切に対処するとともに、各施設の整備、保全、魅力的な環境の維持及び施設広報等に努め、立山の雄大な自然に育まれた立山信仰の精神世界の魅力を発信してもらいたい。
- ・大人数での団体鑑賞は、近隣施設と連携し、分散して来館してもらえるよう調整しつつ、できるだけ多くの来館者を取り込めるよう工夫してほしい。
- ・開館から30年が経過し、防災設備や嶋家、善道坊、合掌休憩舎の屋根等、施設の老朽化が著しくなっているが、県への報告を密にし、トラブルの未然防止に注力してもらいたい。